

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典演習 I

教科：国語 科目：古典演習 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 選択者

教科担当者：森本

使用教科書：（『プログレス古典（基本編）』（いづな書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】文章を読むために必要な単語・文法の知識を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き進んで表現する。

【学びに向かう力、人間性等】国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

科目 古典演習 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文章を正確に読み取るために、語句や表現方法に関する知識を学ぶ。	古典文学に関する知識をもとに作品の内容を的確に理解する。	わが国の言語文化に関する理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話 聞	書	読					
1 学 期	・活用形 ・動詞	・活用形について学ぶ。 ・正格活用動詞について学ぶ。 ・ワークの読解問題に取り組む。	○	○	○	【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	・動詞 ・形容詞・形容動詞	・変格活用動詞について学ぶ。 ・形容詞・形容動詞について学ぶ。 ・ワークの読解問題に取り組む。	○	○	○	【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2 学 期	・助動詞	・助動詞について学ぶ	○	○	○	【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	助動詞	・助動詞について学ぶ	○	○	○	【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1

3 学 期	・女子	教材『土佐日記』 『門出』 ・旅に出るまでのならわしについて知る。 ・日記の形態や書き手の設定に着目し、その効果について考える。	○	<b>【知識・技能】</b> ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・作品に描かれた古人の旅について作品を読み味わうことをとおして、当時のならわしについて知り、旅について書かれた日記の意義について考えようとしている。	5
	<b>【知識及び技能】</b> ・文章の意味や表現は作品の文脈の中で形成されることを十分に理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> ・作品に表れている登場人物の感じ方をとらえ、読み取りの根拠を明らかにする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・作品の主題を読み取り、他の作品にふれることによって死生観について自分の考えを深める。	教材『城の崎にて』 ・主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解する。	○	<b>【知識・技能】</b> ・語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・作品に興味を持ち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。	8
					合計
					53